

宮古市 キャトル跡地の利活用を考えるワークショップ

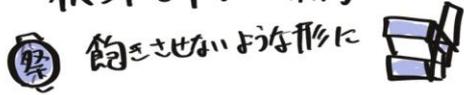
市民主体のまちづくり ~ 山形市七日町の事例から ~

山形市は今
仙台から人が来るまちに!!

一世帯あたりの
ラーメン消費額
日本一



イベントを年4回に集約して



① 飽きさせないお祭り

2020年に
百貨店の
倒産



そんな中

七日町の現在

1,000人の新規居住者 ↑

創業・新規開業が10件/年

10年連続

歩行者
↑ 増

地価 ↑

まちは継続して
育ていくことが大事



住民がこんなまちがほしい
ビジネスもできるか!

将来ビジョンがあると



皆が進む先が揃ってこそ
わかりやすい

七日町のまちづくりの原点

一斉朝清掃



人のかき根をこえて
まちへの想いがある人が集う

このまちの課題

田 遊有不動産の再生 田

田 まちづくりの推進



解決のために
目的を定めるのが大事

エリアマネジメント

将来像共有 + 役割分担

行政や他の団体に
どう関わってもらうか!

主体は民間

行政は
余白をどう活用するの!



中心市街地は
一体誰のものなの?

経済力
向上

暮らしが
どうよくなるか!

ジブングトになる

まちづくりに必要な人材

田 地域の
魅力を支える人

田 地域の
未来を描ける人

地域に関わる人を
多様化させること!!



宮古市
出身

山形まちづくり株式会社 常務取締役
下田 孝志 氏

宮古市 キャトル跡地の利活用を考えるワークショップ

市民主体のまちづくり ~ 山形市七日町の事例から ~

場づくりとは

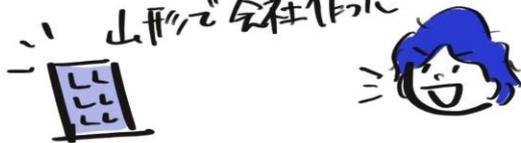


自分たちにとって都合のいい人や組織は出て来ない!!

↓
地域の人材発掘・育成
「プラットフォーム化」



自分もおもいあって山形で会社作った



根の連携

大学生との事例
(先生は絡めず有志で)



建築の学生は話し合い

↓
形にしてくれる



まちの模形



大人も温かく話さなく

かんぱつサモ事業

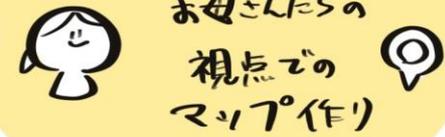
子どもたちのやりたいを実現させる



高校生との連携



子育てママとの連携



どんどん周りと

連携して

まちつくり人材を育成

まちの人がやりたいがでてる体制を会社が作る!

ワークショップ 支援を集める

まちなか文化祭



山形まごり株式会社 常務取締役
下田 孝志 氏

宮古市 キャトル跡地の利活用を考えるワークショップ

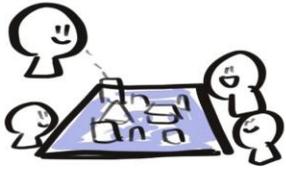
市民主体のまちづくり ~ 山形市七日町の事例から ~

七日町のビジョン

仙台を目指すことにした!!

人口1/4なのに

→ ちょうどいいと考える



自分の立場から
見える地域の
課題を正しく
捉え直す!

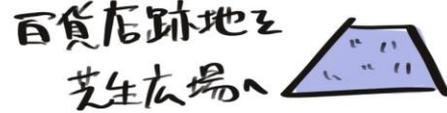
→ それを原動力に

若者がもっと
関われるようなまちづくり



商業ビルの
空きスペース

学生の
定着
拠点!!

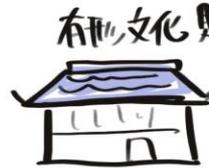


百貨店跡地を
芝生広場へ

車中心から人中心の
空間づくり



堰をきる



有形文化財

活かす

自分の「したい」を
目指せる地域が
組織を
また「未来世代に
いかにつなげるか

③ 宮古は行政の
助けが必要だと
思いまちづくりを
どう進めたらいい?

宮古は規模感として
まちづくり会社作りが
↑ 参入企業少ないかも
行政はどう会社を
サポートするか考える

質疑応答

① ビジョンが
過去とどう向き変わった?

地域を調べる上で
・ まち歩き
・ 過去をレポート
は大切にしていた

② 学生に先生と通ずる
どうつながった?

① 自分で足をばこんで
声をかけていく!

② 困りに対してはい

自由でいい
面白いと思え
もらえる環境



宮古市
出身

山形まちづくり株式会社 常務取締役
下田 孝志 氏